



世界の食文化を楽しむ
「コーヒーの話あれこれ」

世界の60カ国以上で栽培されているコーヒーの主な栽培種は、①アラビカ種(エチオピア原産) ②ロブスタ種(コンゴ原産)

香り豊かなアラビカ種は生産量の6割を占めている。ロブスタ種はブレンド用やインスタントコーヒーの原料に使われている。

日本のコーヒーの輸入は1990年代に入ってから急激に増え、アメリカ(約100万トン)に次ぐ世界第3位。



1968年に開店した老舗のカフェ



義父に続いて妻も使うコーヒーミル

「彼が飲むまでした」といふ。(彼が飲むまでした) 今もコーヒーを飲んでいられるか、知らない。(彼が飲むまでした)

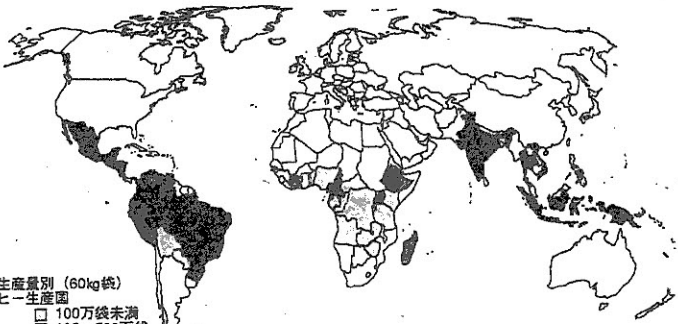
「コーヒーが好きだった義父は、起きるとすぐにミルクでコーヒー豆を挽き、井戸水を沸かし飲んでいた。」

「コーヒーが好きだった義父は、起きるとすぐにミルクでコーヒー豆を挽き、井戸水を沸かし飲んでいた。」

「コーヒーが好きだった義父は、起きるとすぐにミルクでコーヒー豆を挽き、井戸水を沸かし飲んでいた。」

わが国のコーヒー輸入が90年代になって30~35万トンに達し、アメリカ(約100万トン)、ドイツ(約60万トン)に次ぐ世界第3位の消費国・輸入国になったことを背景にしています。

世界のコーヒー生産(2001年)



年間生産量別(60kg換) コーヒー生産国
 □ 100万未満
 ■ 100~500万
 ■ 500万以上

世界のコーヒー生産量1位ブラジル/2位ベトナム/3位コロンビア 消費量は(参考)1位アメリカ/2位ドイツ/3位日本